



6月1日 一斉登校による学校の再開

国の緊急事態宣言が解除されたのを受け、分散登校による再開準備登校や授業再開を経て、一斉登校での学校再開となりました。再開3日目までのところでは、大きな問題は無く、スムーズに新様式での学校生活が始められている感じです。

しかし、「楽観視はできない」とネガティブにこの状況を捉えてもいます。なにせ、これまでどの子も経験したことのない3か月間を過ごしてきました。その後の再開です。新しい生活様式での生活に馴染めなかったり、大きなストレスを感じたりする子が、今後出てくるのではないかと心配しています。

レインボーハウスからの文書にあった、「子どもと関わる際のポイント」を参考にお子様の様子に注視し、気がかりなことがあればお知らせください。

- ◎ 子どもの気持ちや話を否定せずにもう聞き、心配事やニーズを確認する
- ◎ 規則正しい生活を保つ（睡眠、食事、衛生を保つこと、適度な運動、など）
- ◎ 安全を守る方法や感染に関する正しい情報を得られるようサポートする
- ◎ 学校での新しいルールや生活様式について話し合う
- ◎ 「がんばれ」よりも「がんばっているね」「それでいいんだよ」という今のがんばりを認める声かけをする
- ◎ 勉強や友達関係のことなどは担任やカウンセラーに相談することを提案してみる



YOU&I インフォメーション



◆ 給食（新様式の食事のマナーを守り、給食をしっかり食べる指導について）

- ・ 感染を防ぐため、給食の配膳中や食事中、守るべきことがあります。お配りした6月号の「ランチニュース」を参考に指導していきます。
- ・ 口を閉じてよくかみ、好き嫌い無く適量をしっかり食べることは、体の免疫力を保持することだけではなく、ミネラルや塩分等を補うことで熱中症対策としても有効と考えます。朝ご飯を食べて登校することと合わせ、給食をしっかり食べるよう指導していきます。（以前から、口を開けて食べる子が多いと、歯科医の先生からご指摘を受けていたこともあります。）

◆ 手洗い（新様式の習慣化や指導について）

- ・ 流しで密とならない手洗いの仕方が定着し、習慣となるには、もう少し時間が必要です。それまでは「手洗い」を優先し、うがいや歯磨き等については、定着具合を見極めつつ、新たに指導した上で実施を再開していく予定です。（7月頭からの実施の再開を目指します。）

◆ 透明マスク

- 飛沫感染を防ぐため、マスクの着用は欠かせません。
しかし、授業中、マスクで教職員の表情や口の動きが分からなかったり、声が届きにくかったりすることは、子どもたちに悪影響を与えかねません。
少しでもコロナ以前の日常に近づけ、再開された学校生活が子どもたちにとって安心できるものとなるよう、距離や指導内容等を考慮し、可能な場面で「透明マスク」を着用していきます。



Tōzai Art Gallery

東西画廊

＜解説＞ 6月からの学校再開に向け門横のコンクリート塀を高圧洗浄機で洗いました。高圧の水が当たったところの汚れが落ち、何か描けそうだったのでバンクシー気分でプタさんを描きました。楽しかった！



ココン東西

人と会う機会を減らし、3密を避ける新たな生活様式の一環として、ネットで会議をすることが増え、何度か参加した▼教員という仕事柄、人と直接話すことには慣れているが、どうしても画面に映る画像に向かってだと上手く話せない。話にくい。部屋で一人、人ではないモノに向かって話す気恥ずかしさが会話の邪魔をする▼この苦手意識とつながっていると思う、強い違和感を感じてしまう他人の行為がある。それは、携帯電話を耳に当てないハンズフリーでの通話だ。店内ですつと独り言を言いながら買い物をしている人がいる。よく見るとマイク付のイヤホンをして誰かと通話しているらしい。電話を耳に当てて話してほしいと強く思う▼結局、ネット会議での気恥ずかしさ、違和感を払拭するため、家電の受話器型ヘッドセットを購入し、使うことにした。受話器が与えてくれる安心感はすごい！



結局、コロナの影響で、本年度は「離任式」が行えませんでした。なので、離任者に来校してもらい、みんなからのお手紙等を渡し、お別れしました。
以下は、そのとき深井先生が書き残してくれた言葉です。

いろいろとお世話になり、ありがとうございました。明るく温かい東山小学校の雰囲気の中で、楽しく仕事をさせていただくことができました。皆様、これからもお元気で活躍下さい。

深井千加子（令和元年度末 離任者）